

# 2019年度日本財団助成事業 完了報告書

事業名：子ども達への水辺の安全教育プログラムの推進

団体名：（公財）日本ライフセービング協会

事業完了日：2020年3月31日

## 1. 事業内容

### 1. ジュニア教室及び器材整備

- (1) 時期：2019年5月～2020年3月
- (2) 場所：全国海水浴場等
- (3) 対象：小・中学生
- (4) 内容：WaterSafety（セルフレスキュー等）

### 2. ライフセービングサポーター講習会

- (1) 時期：2019年5月～2020年3月
- (2) 場所：学校スポーツ施設（体育館、プール）、民間スポーツ施設等
- (3) 対象：小・中・高校生・社会人
- (4) 内容：BLS（CPR+AED）等

### 3. 指導員養成プログラムの実施

- (1) 時期：2019年5月～2020年3月
- (2) 場所：全国10ヶ所（関東/関西/九州/その他）
- (3) 指導員養成講習会

### 4. 教育プログラムの構築

- (1) 時期：2019年4月～2020年3月
- (2) 内容：ITC教育用プログラムの開発

## 2. 事業内容詳細：

※下記および別途報告書参照

## 1. ジュニア・ライフセービング教室及び器材整備

### ● 実施概要

- 2018年度「ジュニア実態調査」を踏まえ、以下の方針で教育本部にてクラブを選出した。
  - ◇ ①ジュニア活動を実施なしから今後実施したいという意思があるクラブ
  - ◇ ②ジュニア活動を開始して2年以内のクラブ
  - ◇ ③特別措置、その他
- 内容：生命教育を軸に、海の安全についての基礎知識を学び、海での自己防衛技術、人命救助術を体験。ビーチフラッグス競技、ジュニアボードレース等も実施し、海を楽しみながら安全意識の向上をはかる
- 対象：小学生・中学生、場合によってはその保護者
- 場所：各クラブの活動浜またはプール、学校施設等
- 支援物件：
  - ◇ ジュニア用ボード2本／ジュニアテキスト配布／ジュニアキャップ配布

### ● 実施クラブ

- ①の方針から「屋久島 LSC」
- ②の方針から「鹿嶋 LGT」「新宮 LSC」
- ③の方針から「若狭和田 LSC：特別支援学校・学級の児童生徒」
- ③の方針から「盛岡 LSC：ニッパーボード盗難被害による支援措置」
- ③の方針から本部主催によるジュニア教室

### ● 実施報告

No	開催日	主催	会場	参加者数
1	8/3	JLA	成城学園プール（東京都）	10
2	8/9	鹿嶋 LGT	平井海水浴場（茨城県）	50
3	8/24	若狭和田 LSC	若狭和田ビーチ（福井県）	12
4	9/8	屋久島 LSC	一湊海水浴場（鹿児島県）	40
5	9/21 ※台風中止	新宮 LSC	シーサイドももち海浜公園（福岡県）	中止
				112

### ● 得られた成果

- 教育本部の方針により選定したクラブを対象としたため、クラブとの意思疎通を図ることができた。本部主催でプールを利用しての教室を開催できた。若狭和田では特別支援学校・学級の児童生徒へのプログラムに取り組めた。

### ● 成功要因

- 各クラブの開催意欲が高かった。また、担当委員が現地におもむき適宜その運営をサポートすることができた。

### ● 失敗要因

- 開催クラブが増えた場合、教育本部担当委員がその実施をケアしきれないことが想定される。



若狭和田



屋久島

## 器材整備

- 目標
  - (1) ニッパーボードの配布 < 10本=2本×5ヶ所 >
  - (2) Jrキャップの配布 < 100枚=20枚×5ヶ所 >
  - (3) Jrテキスト < 2000冊 > → 3500冊
  - (4) Water Safetyテキスト < 2000冊 >
  - (5) Jrパンフレット < 2000部 >
  - (6) Academyパンフレット < 5000部 > → 3000部
  - (7) ライフセービングサポーター修了証 < 10000枚 >
- 実施結果
  - (1) ニッパーボード：7ヶ所×2本=14本。不足4本は本部在庫より配布。
  - (2) Jrキャップ：7ヶ所=140枚。不足40枚は本部在庫より配布。
  - (3) Jrテキスト：1235冊配布（ジュニア教室160冊、その他の事業1075冊）
  - (4) Water Safetyテキスト：1334冊を配布（WSプログラムに1134冊、その他事業に200冊）
  - (5) Jrパンフレット：1200冊を配布（ジュニア教室に160冊、その他の各種事業等に1040冊）
  - (6) Academyパンフレット：3000部を配布
  - (7) ライフセービングサポーター修了証：14537枚（BLS/5420枚、WS/9117枚）を配布。  
不足4537は本部在庫より配布。
- 得られた成果
  - ジュニア教室はじめ、資格認定講習会、各種イベント、学校をはじめとする教育機関を通じて広く配布できた。
- 成功要因
  - 手軽に配布できる教材としてジュニア教室はじめ各種事業の実施の際に配布するようにしている。ジュニアテキストは内容をより分かりやすく改訂し、イラストも子どもたちになじみやすいデザインに変更した。
- 失敗要因
  - Jrパンフレットの配布事業を拡充できなかった。Academyパンフレットは増刷数が限られていたため、需要に対して不足してしまった。

## 2. ライフセービングサポーター講習会（体験講習会）

- 目標
  - BLS(CPR+AED)講習 100ヶ所×50人=5000人
- 実施結果
  - BLS(CPR+AED)講習 79ヶ所 5420人 により達成できた。
  - Water Safety講習 86ヶ所 9117人 により達成できた。
- 実施報告

	2019年 開催数	2019年 発行数	2018年 開催数	2018年 発行数	2017年 開催数	2017年 発行数
BLS	79	5420	88	6907	79	5744
Water Safety	86	9117	50	4578	60	7330
合計	165	14537	138	11485	139	13074

	2016年 開催数	2016年 発行数	2015年 開催数	2015年 発行数
BLS	86	6240	113	7502
Water Safety	42	5972	45	6505
合計	128	12212	158	14007

- 得られた成果
  - ライフセービングサポーター講習会は、資格認定講習会とは異なり、体験・啓発型の講習会として依頼者のニーズに合わせて時間や内容をカスタマイズできる普及講習会である。受講費用は無料であるため、企業や教育機関においても比較的導入しやすいものとなっている。また、指導員やライフセービングクラブが地域連携を図れる貴重な機会となっている。
- 成功要因
  - JLA指導員には学校教員が多く、また教育委員会との連携が強化されている地域がでてきている。そのため、集客やPRにあまり手間をかけずに一度に多くの人数に対して普及できた。
- 失敗要因
  - 訓練用人形とAEDトレーナーの器材不足が発生している。

### 3. 指導者養成プログラムの実施

- 目標  
「指導員養成講習会」「指導員研修会」の開催
- 実施結果

#### 【BLS 指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	合格者
2020年	1月11日、12日、18日、19日	9:00~17:00	三保研修会館 (静岡県静岡市)	12
	1月18日、19日、25日、26日	9:00~17:00	豊成温水プール (岡山県岡山市)	6
	2月7日、8日、9日、10日	9:00~17:00	ちゃたんニライセンター (沖縄県北谷町)	12
	2月21日、22日、23日、24日	9:00~17:00	湘南海岸公園サーフビレッジ (神奈川県藤沢市)	7
			合計	37

#### 【サーフライフセービング指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	合格者
2019年	4月29日、30日、5月1日	9:00~17:00	静波海岸 (静岡県牧之原市)	9
	5月3日、4日、5日	9:00~17:00	三浦海岸 (神奈川県三浦市)	7
			合計	16

【指導員研修会(指導員認定講習会)】

日程	日にち	時間	会場	参加者
A 日程	2020 年 2 月 1 日(土)	13:00-17:00	福岡市立早良市民センター (福岡県福岡市)	14
B 日程	2020 年 2 月 11 日(祝火)	12:00-16:00	まりりんぎのわん (沖縄県宜野湾市)	11
C 日程	2020 年 2 月 15 日(土)	13:00-17:00	サンエールかごしま (鹿児島県鹿児島市)	4
D 日程	2020 年 2 月 17 日(月)	17:30-21:30	神明いきいきプラザ (東京都港区)	36
E 日程	2020 年 2 月 22 日(土)	13:00-17:00	YIC 京都貸し教室 (京都府京都市下京区)	11
F 日程	2020 年 2 月 24 日(祝月)	12:00-16:00	成城学園中高校舎 (東京世田谷区)	43
G 日程	2020 年 2 月 29 日(土)	13:00-17:00	フジコミュニティセンター (愛知県名古屋市)	10
H 日程	2020 年 3 月 1 日(日)	13:15-17:00	マッターホルン (静岡県静岡市)	15
I 日程	2020 年 3 月 4 日(水)	12:00-16:00	国立オリンピック記念 青少年総合センター(東京 都)	30
J 日程	2020 年 3 月 8 日(日)	13:00-17:00	柏崎市民プラザ (新潟県柏崎市)	7
K 日程	2020 年 3 月 14 日(土)	13:00-17:00	PARM-CITY 131 貸会議室 (宮城県仙台市)	6
L 日程	2020 年 3 月 15 日(日)	12:00-16:00	成城学園中高校舎 (東京世田谷区)	32
M 日程	2020 年 3 月 21 日(土)	12:00-16:00	岡山県立図書館 (岡山県岡山市)	10
N 日程	2020 年 3 月 28 日(土)	13:00-17:00	エルプラザ (北海道札幌市)	66
G 日程以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、 e-learning 対応とした。			合計	295

● 得られた成果

- 「ジュニアリーダー養成講習会」 23名
- 「指導員養成講習会」
  - ◇ BLS指導員養成講習会 37名
  - ◇ サーフライフセービング指導員養成講習会 16名
- 「指導員研修会」 295名

● 成功要因

- 都道府県協会の協力体制が安定してきたことで、日程が重なった場合でも開催することが可能となってきた。新たな地域で開催することにより、受講者の増加がみられた。

● 失敗要因

- 都道府県協会での開催の場合の運営マニュアルの充実、資器材の支援がさらに必要である。

#### 【BLS指導員養成講習会】



#### 【指導員研修会】



### 4. 教育プログラムの構築・ITC教育用プログラムの開発

#### (1) 目的

JLAとして初等中等教育における海洋教育を広く推進していくために、水辺の安全教育は必須と考えます。水泳を含めた水辺教育のファンデーションプログラムとなる「安全に関する知識と技能習得」のためのICT教育の開発を目的とする。 [資料A P23、P24 参照]

#### (2) 目標

2019年度中にJLAのウォーターセーフティプログラムから、小、中学校学習指導要領に関連する事項を主に抽出し、コンテンツの制作、完成を目指す。

#### (3) 事業の方向性

小学校、中学校学習指導要領改訂に伴う「水泳」における「安全確保につながる運動」「水泳の事故防止に関する心得」等を反映したウォーターセーフティプログラムの構築を行う。その上で水泳や水辺の活動に潜む危険への理解や、危機回避能力を養うためのICT教育プログラムを軸として開発する。なお、その際は新学習指導要領との関連性に留意しながら『ROYAL LIFESAVING SOCIETY-AUSTRALIA』のE-LIFESAVINGを参考に制作にある。

#### (4) プログラム策定の背景

2018年度のジュニア・ライフセービング教育の実態調査報告書（日本財団助成）より、現

場でのプログラム実施の実態、及び依頼される内容等について調査した結果、「海の安全基礎知識」と「ウォーターセーフティプログラム」が多い結果となった。またあくまで ICT 教材は、体験的な活動との融合により、効果的な学びにつなげることを重要視した。

[資料 A P25 参照]

(5) 事業の成果物

水辺の安全に関する知識と技術習得のための ICT 教育コンテンツ

名称 JLA e-Lifesaving

<https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>

[資料 A P26～39 参照]

(6) 2020 年度の課題

上記(5)の普及、教育に JLA の重点地域のジュニア・ライフセービング活動への積極展開、海と日本 PROJECT との連携促進、さらには学校教育における採用、実施を経ながら(20校1万人)、内容精査と新たな学びとなるプログラム開発、撮影、展開を試みる。

[資料 A P40 参照]

(以上)